

満願成就の地「谷汲山」

～人々の願いがかなう聖地～



紅葉が美しい「谷汲山華厳寺」



谷汲山への交通アクセス

<自動車でお越しの場合>



<公共交通機関ご利用の場合>



まん がん じょう じゅ たに ぐみ さん

満願成就の地「谷汲山」

～人々の願いがかなう聖地～

「今日までは 親と頼みし**おいずる** 笄摺を
脱ぎて納める 美濃の谷汲」

(はるやまほうおう
花山法皇作)



笄摺堂

谷汲山華嚴寺は、揖斐川町谷汲地区にあり、日本で最古の巡礼行とされる「西国三十三箇所巡礼」の33番札所(最終霊場)として名高い古刹です。

「西国三十三箇所巡礼」は、近畿地方2府4県と岐阜県に点在する33箇所の観音霊場(札所)を巡礼する巡礼行です。その起源は大変古く、718年(養老2年)、大和長谷寺の開基者、徳道上人により33箇所の観音霊場が開設され、その約270年後、花山法皇が33箇所の観音霊場を巡礼し、今の巡礼行の礎を作ったとされています。33箇所の観音菩薩をすべて巡礼参拝すると、現世で犯したあらゆる罪が消滅し極楽往生(満願成就)できるといわれ、今もなお、多くの参拝者が訪れています。

華嚴寺内には多くのお堂が建立されていますが、中でも特

筆すべきは「笄摺堂」です。巡礼を終え、無事満願成就を果たした巡礼者が、そのお礼に「笄摺」とよばれる巡礼衣装を、このお堂に納めます。笄摺堂の前に立つと、古く色あせた笄摺が山のように積み、この地が、はるか昔から人々の想いを受け止めてきた場所であることを、知ることができます。

また、華嚴寺は、春は桜、秋は紅葉の名所としても有名です。門前参道(華嚴寺の総門から仁王門までの約800mの区間)では、春になると桜のトンネルが出現し、多くの花見客で賑わいます。秋になるとその姿は一変し、今度は紅と黄の美しいコントラストが、仁王門を超えて、本堂まで続きます。訪れる人々の目を癒し、願いをかなえてくれる場所-谷汲山華嚴寺。あなたも、その魅力に触れてみませんか?



華嚴寺 門前参道の桜

おもしろスポット紹介



旧名鉄谷汲駅(推薦産業遺産)・昆虫館

華嚴寺の総門から徒歩約5分の場所にあり、駅構内に、70年以上も現役で活躍したモ755電車とモ514電車を保存中。大変古い電車で速度計がなく、運転士は長年の経験と勘でスピードを操っていたとか!隣には、国内外の昆虫標本を展示する「昆虫館」も併設されていて、大人から子どもまで楽しめる、おすすめスポットです!
利用時間:9:00~16:30 利用料:大人200円、小人100円
休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始
問合せ先:昆虫館 TEL:0585-56-3833
※旧名鉄谷汲駅は、無料で入場できます。



小野百観音(おのひゃっかんんのん)

かつて谷汲山への巡礼街道があった、揖斐川町小野地区にあります。山道を登っていくと、突然、百体を超える観音像が道の両端に出現します。昔より、巡礼者の旅の安全と満願成就を祈願し、街道上に奉納されていた観音像を、現在の場所に集めたものとされ、隠れたパワースポットです!